



キボコ小学校のこどもたち

いよいよ「チョコラ！」上映と キャンペーンが始まります。

前号「モヨ通信13号」でご協力をお願いした「チョコラ！」上映と松下の日本キャンペーンがまもなく始まります。長年の夢であった「子どもたちの家」建設と運営に向けてのキャンペーンです。外務省の「草の根無償資金」にも申請書を提出、指導も受け始めました。色々な方々が色々な企画で、ご協力を申し出てくださってもいます。

私の全国キャンペーンは4月20日(月)日本到着

に始まり、7月27日(月)日本出発までの3ヶ月余りです。「チョコラ！」との二人三脚です。会場によっては小林監督と、或は吉田カメラマンと、また或は音楽のサカキマンゴーさんと一緒に出来るようです。今年中の着工を目指して出来るだけ多くの方々にお会いし、ご協力をお願い出来たらと思っています。日本で、「チョコラ！」と共ににお会い出来るのを楽しみにしています。

「チョコラ！」 劇場公開の御礼。

「チョコラ！」監督 小林茂

ついに、『チョコラ！』の劇場公開と「子どもたちの家」建設キャンペーンが始まります。お世話になりました皆さんには何と御礼申し上げてよいかわかりません。ありがとうございました。おかげさまで試写会は連日満員で、反響も大きいようです。ティカの町のストリートに暮らす子どもたちの日常が映っています。ただ、それだけなのです。そこから何を感じとるかは、観る人にゆだねられています。映画公開を記念して岩波ブックレットから『チョコラ！アフリカの路上に生きる子どもたち』が5月8日刊行されます。松下さんのコラムもあります。各地でみなさんにお目にかかれることを願って。

■松下照美キャンペーンスケジュール(3月30日現在)

5月	9日	土	東京	ユーロスペースにて初日舞台挨拶あり
	16日	土	新潟	シネウインドにてトークショー
	17日	日	新潟 長岡	シネマチャオにて特別上映&講演会
			新潟 十日町	シネマパラダイスにて舞台挨拶あり
	25日	月	北海道・札幌	シアターキノにて特別先行上映&トークショー
	28日	日	北海道・帯広	特別上映&講演会を予定
	29日	金	北海道・苫小牧	シネマトーラスにて特別先行上映&トークショー
	30日	土	北海道・室蘭	特別上映&講演会を予定
	31日	日	北海道・中標津	特別上映&講演会を予定
6月	6日	土	北海道・函館	特別上映&講演会を予定
	20日	土	鹿児島・鹿屋市	特別上映&講演会

他、大阪・名古屋・秋田・仙台・富山・広島・福山・徳島・松山・沖縄などでも上映と併せたキャンペーンを計画中です。

■「チョコラ！」劇場公開予定(3月30日現在)

5月9日?	東京	ユーロスペースにてロードショー
5月16日?	新潟	シネウインド
5月16日?	新潟 十日町	シネマパラダイス
6月中旬?	札幌	シアターキノ
6月下旬?	大阪	第七藝術劇場
6月? 7月予定	北海道苫小牧	シネマトーラス
6月? 7月予定	沖縄	桜坂劇場
7月予定	名古屋	シネマテーク
公開日時未定	京都	みなみ会館
公開日時未定	広島	横川シネマ
公開日時未定	静岡	cinema e-ra

他、全国順次公開予定。上映やキャンペーンについての最新情報は「チョコラ！」公式サイトでご確認下さい。www.chokora.jp

モヨ「役員年次総会」に出席して 大垣

今回のケニア・ティカへの旅は10回目を向える。MCC 役員年次総会への参加が主たる目的である。2月21日に、ティカの町外れにある、ブルーポストホテルで行われた。

昨年から役員年次総会はケニアと日本とで交互に開催される事になり、今回の参加者は議長を松下照美、書記をウガンダからのアロイジヤス、直前の急用でボビーは不参加となったが議長に委任、他役員からの委任状も届き、公式の会となる。他にアマニ・ヤ・アフリカからオブザーバーとして石原さん、佐藤さんが参加された。主たる議題は本年中に着工予定の「子どもたちの家」建設の為に日本での

キャンペーン（日本大使館の「草の根無償支援」へは申請書を提出済み）に付いてであった。

3月9日ナイロビ日本大使館でのオダンゴ会議にも参加させてもらった。これは ODA と NGO の相互情報交換の会で並べると ODA-NGO となる。奇しくも内容は JICA や外務省からの資金援助の説明であった。会場を大使公邸に移して懇談会の席では、初めての方や良く見知った人達との交流が予定時間をオーバーして盛んに行われた。

さて今回はキボコの子どもたちの家に泊まって、朝小学校と一緒にいったことや、ティカの町まで3回程歩いた中での、車で走ってはいないような地元の人達との触れ合いが、特筆すべきことであった。

「私たちの胸に刻まれた沢山の事」

2月22日・23日にモヨをご訪問くださった明治学院国際学部2年・勝俣ゼミ（勝俣教授・女子学生10名・男子学生3名）の皆さんからのお礼の手紙。

松下照美様

こんにちは。明治学院大学国際学部勝俣ゼミ二年白倉英理です。ゼミ生を代表してお礼を申し上げます。

去る2月22日、23日の訪問時には、私たちを受け入れていただき、同時に大変お世話になり、ありがとうございました。

2月26日、ゼミ生一同無事に帰国し、大きな病気もせずに過ごしております。

一日目にティカの町を見せていただいたり、子どもたちと食べたご飯やサッカー、二日目のスラムやスラム内の小学校の見学はそこに住む人々やそこで学ぶ小学生の生活に触れられただけでなく、そこに隣り合わせている深刻な給食事情など、松下さんをはじめ、モヨのみなさんとそこに関わる方々に沢山の事を学ばせていただきました。そこで起こった出来事は私たちの胸に刻まれ、その場所で見ただけを受けてゼミ生それぞれ見たこと感じたことを話しています。また、ブログも拝見させていただきました。私たちの訪問時のことも書いてあり、うれしく思いました。今後ぜひチェックさせていただきたいと思っております。

先日、ゼミ長西山が「チョコラ！」制作担当の秦さんに、映画に関するお手伝いや試写などをゼミ生の有志で行いたいと連絡を差し上げました。今回の訪



問の縁をうけ、私たちも何か力になれば幸いです。また、松下さんが日本に来られる折にはお会いできたらうれしいと考えております。

訪問時にお撮りした写真は後日郵送させていただきます。また、これからとりかかる報告書もできあがりましたら郵送させていただきたいと考えております。

最後に、ゼミ長、西山 朗からの伝言ですが、夕食のときにアロイジヤスさんと話をし、ぜひまた連絡を差し上げたいとのことなのですが、連絡先をうかがうのを忘れてしまったと言っていました。アロイジヤスさん、松下さんがよろしければ教えていただけないでしょうか？もしよろしければ、こちらのメールアドレスのほうにご返信ください。

それでは、長くなりましたがこれからも松下さんのご健康とご活躍、モヨ・チルドレンセンターのますますの発展を日本よりお祈りしております！

スタッフのみなさまや子供たち、訪問にかかわって下さった皆様によりしくお伝えくださいませ。

お礼のご連絡が遅くなってしまい、申し訳ありませんでした。

明治学院大学 国際学部 二年 勝俣ゼミ
白倉 英理

ストリートの子どもたちへの支援

ライナス・ブルのケース

このところ子ども省や他の NGO から依頼を受け、短期間子どもを預かることが増えています。路上で逮捕されたり補導され、警察の留置場に長期間留め置かれている場合とか、子どもの行き先を探している間だとかのケースです。今回はこの中から「ライナス・ブル（9才）通称ライナス」の場合をご報告します。

彼は両親を亡くし、兄と一緒に祖母に育てられていましたが、いつか路上に出るようになりました。路上生活も長く、ティカの子どもに関わる NGO では超有名人？です。というのも現在までにほとんどの NGO が手掛けていて、NGO から NGO へ、ナイロビのホームへも送られましたが、逃げ出してティカに舞い戻り、ひょっこりスタジアムへ現れたのが今年1月22日です。今までも折りに触れてモヨへも現れ、その都度その時所属していた NGO に連絡して返すということを繰り返してきました。その間、盗みも繰り返していたそうです。9才とは信じられないほど小柄で5、6才に思えるほどです。いたずらっぽいくりくりした瞳、冗談好きのやんちゃな性格には大人も子どもも惹きつけられ、どこにいても人気者です。

さて、そんな彼に新たな問題が加わりました。エイズを発症していることが判明、多分母体から感染したのだろうとい

うことで特別な手当が必要で、よくここまで生き延びてこられた、しかも路上で…と思います。小柄なのも頷けます。「新しい家」で数日を過ごした後、車で20分ほどのキリスト教系の病院が運営しているエイズの子どもたちのためのホームに入所させることになりました。そこは有料で1ヶ月4,000シル（≒5,000円）かかるのですが、それはモヨと別の NGO が折半することになりました。

先日支払いもかねて訪ねた時は学校に行っていて会うことが出来ませんでした。その後電話をしてくれたり、「新しい家」を訪ねて来ています。ホームにも馴染み、体調も良く、隣接している学校へも喜んで行っているということでホッとしています。

ホームのシスターの話では、貧しい家庭の子もだとエイズを発症していても経済的な理由からなかなか治療が受けられず、亡くなっていく子どもたちがたくさんいるとのこと。今後そういう子どもたちのことに付いても検討したいと思っています。

松下

「モヨ・チルドレン・センターを支える会」会員募集

お一人でも多くの方に、一社でも多くの法人にご入会いただき、当センターを支えて頂ければ幸いです。

		年会費	
		個人会員	法人会員
①正会員	日本	6,000円	20,000円
	ウガンダ・ケニア	4,000KSH	13,000KSH
②賛助会員	日本	3,000円	3,000円
	ウガンダ・ケニア	2,000KSH	2,000KSH

■経過報告（2009年4月1日現在）

正会員：日本103名（18名増）・ケニア1名（6名減—5名；日本へ移行・1名；イギリスへ移行）イギリス1名 計105名
賛助会員：日本83名（9名増）・ケニア0名 計83名
特別会員：日本39名・ケニア2名・計41名
法人会員：5社（2社増）・グループ4
総会員数：個人229名・法人5社・グループ4

■「支える会」よりお願い

郵便振替用紙を同封させて頂きました。通信欄に、会員番号、送金の趣旨（〇〇年会費・無指定寄付・〇〇指定寄付）等をご記入ください。皆様のご協力を心よりお願い致します。

■「支える会」会費 / 寄付受付先

口座名：モヨ・チルドレン・センターを支える会
代表者：高塚政生※郵便振替口座番号：01660-1-73996

■お知らせ

ケニアがリアルタイムで伝わる松下照美のブログ更新中です。HP からアクセスしてください。http://moyo.jp/

交通渋滞

ケニア・ア・ラ・カルト⑭

最近、ナイロビ市内の交通渋滞がひどいです。原因は交通事故・車の故障・道路メンテナンスなどが挙げられます。ケニアでは事故が起きた場合、警察官が現場検証するまで車を動かさません。当然、事故現場から渋滞が始まり、どんどん範囲が広がっていきます。又、自家用車を購入する人が増えたことも大きな原因のひとつです。ケニア政府が発表したデータ（2007年）によると2000年に登録された車両数は45,653台、2007年は85,324台と2倍弱も増えています。市内には、中古車をずら〜と並べた自動車販売店があちらこちらにあります。自家用車を購入するほどケニアの人々の生活が豊かになったことは良いけれど、それはほんの一部の人だけで、富裕者と貧困者の格差はどんどん広がるばかりです。高橋

モヨ・チルドレン・センターの歩み

1997年11月 / ケニア政府大統領府 NGO ビューロー・インターナショナル NGO 登録の申請書類提出。
1999年9月 / ケニア政府より国際 NGO として「モヨ・ホーム」正式に認可・登録される。
2000年10月 / ティカにて、本格的に活動開始。
2001年5月 / 「モヨ・ホーム」から「モヨ・チルドレン・センター」に改名。
2004年4月 / 「モヨ・チルドレン・センターを支える会」発足。

編集後記

◎この「通信14号」が皆様のお手元に届く頃は私も日本。お会い出来るのを楽しみにしています。（テル）
◎昨年の小雨季に十分な雨が降らず、今年の大雨季の始まりも遅れているため、ケニア各地で水不足が生じています。水の大切さが身にしみるケニア生活です。（優香）
◎今年は桜の咲くのも散るのも早いですね。まだ4月上旬だというのに並木道には提灯だけが辺りを照らしています。（英）

モヨ・チルドレン・センター ● ケニア政府 NGO 局登録番号：OP.218/051/97223/1006
P.O.BOX 2712 THIKA KENYA TEL/FAX：254(ケニアの国際番号)-067-22329 E-MAIL：moyo@africaonline.co.ke
モヨ・チルドレン・センターを支える会 ● 〒799-0702 愛媛県四国中央市土居町小林 1785-1 高塚政生方
TEL/FAX：0896-74-7920 携帯電話：090-11715632 E-MAIL：tmasao@d1.dion.ne.jp

■これまでのモヨ・チルドレン・センター日本支部は「モヨ・チルドレン・センターを支える会神奈川支部」になりました。連絡先はこれまで通り 〒211-0011 神奈川県川崎市中原区下沼部 1916 青木康子：TEL/FAX：044-433-3447